

学生企画のボランティア活動は、住友商事・東日本再成ユース
チャレンジプログラムから助成を受けています。

ボラスステ新聞

2015年度
第7号

二〇一五年
十二月十日
発行

魅せる それぞれの色

名取復興音楽祭2015

十一月七、八日開催

音楽祭では、合唱やダンス、
関上太鼓やオカリナの演奏など、
たくさんさんの演目があり、大変楽
しい時間となりました。

私は、出演者の方々を楽屋か
ら舞台にご案内する誘導をして
いました。プログラムの時間通
りに誘導するのはとても大変で
したが、大きな問題もなく音楽
祭を終える事ができ、本当によ
かったと思います。

また、その慌しさの中で出演
者の方々とお話をしたり、出演
者の方々同士で励ましあってい
たりするのを見て、この音楽祭
という「場」を来年も再来年も
続けていけたらいいなと強く感
じました。

本番では、出演者の方々の
日々の努力がひしひしと伝わっ
てくる、迫力のある発表を観る
ことができました。

そして、後日のミーティング
では、「少しの時間でも仮設の
方々と交流ができてよかった」、
「貴重な体験だった」など、前
向きな感想が多かったです。反
省点としては「誘導の時に団体
さんごとにリストバンドのよう
な目印があったほうがいい」、
「日程表に頼りすぎてドタバタ
してしまっただ」などが挙げられ
ました。反省点を活かし、さら
によりよい活動にしたいと思っ
ます。

(人間心理学科一年 田中遥)

名取復興音楽祭とは……
「被災された方々の生活を気づけるきつ
けにしたい」、「住環境が大きく変化していく中
で、新しい交流の場にしてほしい」という思い
から、昨年より始まった音楽祭です。

今年の名取復興音楽祭は、参
加団体も増え、より質の高い歌
や踊りを披露され、昨年よりも
パワーアップしたものになりま
した。TASKIからも出演させて
いただき、音楽祭を盛り上げる
ことができましたと思います。

まず、八本松サロン・植松入
生仮設・あすと長町仮設・グラ
ウニー合唱団の方たちと

「Believe」を合唱と手話、ダン
スでコラボしました。合唱団の
皆さんは歌を歌い、私たち学生
は手話にアレンジでダンスをつ
けました。手話にダンスは初め
ての試みで、苦戦しながら練習
したことを覚えています。

そして、昨年に引き続き、
TASKIのユニット「アイ☆シン」
で踊らせていただきました。
「今日もハレバレ!!」と「キ
ミがいる」という曲で、曲調や
歌詞から、元気を与えられると

思い、この曲を選びました。踊
り終えたあと、大きな歓声と拍
手を頂き、胸がいっぱいにな
りました。

私はダンスで周りを笑顔にさ
せるのが大好きです。これから
もダンスで、たくさんの人に笑
顔を届けられる支援をしていき
たいと思いました。

(人間心理学科二年 中里大輔)



編集 後記

先日、久しぶりに甥っ子(4才と2才)と遊びました。2人とも戦隊モノが大好きで、サンタさんにもお
願いしたようです。「どれがほしいの〜?」と一緒におもちゃコーナーを見ていると、なかなかのお値段で
驚きました…。(知らなかったです。)ほしいものをちゃんとくれる、全国のサンタさんの偉大さを知った
瞬間でした。(表現文化学科3年 渋谷佳代)